

軟 式 野 球

1 開催期日 令和8年7月18日(土)・19日(日)・21日(火)・22日(水)

2 開催場所 ひげしんスタジアム 有田赤坂球場
国見台野球場 サンスポーツランド北方野球場

3 実施要項

(1) 日程 1日目 18日(土) 8時00開場 8:20開始式(選手は8:10集合)
開始式参加者は各会場第1試合のチーム
9時30分競技開始 1回戦
2日目 19日(日) 8時00開場 9時00分競技開始 準々決勝
3日目 21日(火) 8時00開場 9時00分競技開始 準決勝
4日目 22日(水) 8時00開場 9時00分競技開始 決勝,表彰式
競技開始時刻は予定であるので、時間の繰り上げもある。また、同一チームが連続して試合を行う場合の2試合目の開始時刻は、1試合目終了から40分後を原則とするが、天候によっては大会本部で判断することもあるので、この限りではない。

(2) 競技方法 トーナメント方式による。

(3) 参加資格 ①佐賀県中学校総合体育大会開催基準に準ずる。
②参加資格の特例を認める。(開催基準(10)地域クラブ活動)
③各地区代表チームと地域クラブ活動の代表チームとする。なお、別に定める大会(佐賀県中学軟式野球大会)で上位4チームが所属する各地区・地域クラブ活動に特別枠として参加資格を与える。

(4) 参加制限 チーム編成は、監督1名・選手18名以内(スコアラー含む)とする。また各地区代表校は、この他に教員を2名追加することができる。ただし、外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、21名以内とする。地域クラブ活動は、指導者を2名まで追加することができる。計21名以内とする。

(5) 大会規則

① 2026年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟取り決め事項に準ずる。

② 九州中学校軟式野球大会実施要項及び佐賀県中学校軟式野球競技特別規定に準ずる。

③ 佐賀県中学校総合体育大会規則(申し合わせ事項)による。

ア 中学校の監督は当該校の教員とする。当分の間、当該校の教職員・部活動指導員でもよい。教員以外のコーチは、校長の認めたものとする。地域クラブ活動の監督は当該チームの代表者・指導者とする。

1日目は1回戦8試合(4会場)、2日目は準々決勝4試合(2会場)、3日目に準決勝(2会場)、4日目に決勝を行う。

第2試合以降のチームは試合開始1時間前までに会場入りし、本部へ到着した旨を伝える。

イ 5回以降7点差がついた時はコールドゲームとする。

ウ 7回を終了し、同点の場合は勝敗を決するまでタイブレーク方式を行う。継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死1、2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、選手交代は許される。

エ 規則 5.10(d)原注(投手は1イニングで投手以外の守備に2度以上着くことは許されない。)は本大会では適用しない。

オ 監督が投手のところへ行く回数の制限(5.10(ℓ)関連)

監督が1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレークは、1イニングに1回行くことができる。

- カ 守備側のタイムの回数制限
捕手または内野手が、1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、タイムブレイクは、1イニングに1回行くことができる。
- キ 攻撃側のタイムの回数制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、タイムブレイクは、1イニングに1回とする。
- ク 試合球は本部で準備した、全日本軟式野球連盟公認球M号球を使用する。
- ケ シートノックは試合開始30分前から、後攻側から始め通告時より5分以内とするが、天候・感染症対策等事情により省略・短縮またはサイドノックに変えることもある。(シートノック最中に用具チェック、マナーチェックを行う)選手18名以外の補助員は3名認める。ただし、ヘルメット着用のごととする。シートノック時にはマウンド付近を使用しない。また、ボールを入れるバッグ等は、地面におかない。
- コ ベンチは若番を1塁側とする。(ファウルボールはベンチ側で拾う)
- サ 疑義することができるのは、監督または当該プレーヤーとする。
- シ 監督は、チームと同一のユニフォーム、同一同系色のスパイクか靴を着用し、背番号30をつける。コーチの服装は、チームと同一のユニフォーム(同一同系色のスパイクか靴を着用し、背番号29・28のついたもの)か平服(白を基調としたポロシャツ、選手と同一の野球帽子)とする。(ただし、ノックをするものはユニフォーム着用のごと)
- ス 背番号は、1番~18番までとし、1桁までは原則としてポジションを示す数字であり、全員が続き番号であるごとする。
- セ 申込の記載選手をもって登録選手とし、変更の場合は1日目の開始式前までに大会本部へ届け出る。
- ソ ベンチには、監督・コーチ・選手以外は入ることができない。
- タ 打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイまたはバットガールは両耳用ヘルメットを着用する。
- チ 捕手は、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード付きマスク、ファウルカップを着用する。
- ツ スパイクのチーム内(指導者も含めて)での甲被カラーは、白または黒の一色とし、チーム内での混在を認める。
- テ ストッキングは、ローカット、普通カットを使用する。チームで統一する。
- ト ベンチ内でのメガホンの使用は1個に限る。
- ナ リストバンド、バットリング、マスコットバット、スプレー、手首サポーターの使用を禁止する。ただし、手袋とサポーターの一体型のものの使用は認める。
- ニ 投手の球数制限を適用する。(大会期間中・タイムブレイク方式も含む)
1日100球 5日間350球
ただし、試合中に到達した場合は、その打者の打撃が完了するまで投球できる。

(6) 表彰

- ① 優勝チームに賞状および優勝旗を授与する。 ② 第2位、第3位に賞状を授与する。

(7) その他

- ① 申込締切 7月8日(水)
② 申込先 佐賀県中体連事務局
③ 参加料(一人1,000円)を大会申込書に添えて、各地区代表チームは各地区理事長に持参する。地域クラブ活動は代表者等が県中体連事務局に持参する。
④ 感染症対策については、本連盟の「感染症等に関わる対応について」を遵守すること。